

(参考様式3)

会 議 録 (要約)

会議の名称	第17期第1回東村山市立公民館運営審議会				
開催日時	平成24年12月12日(月) 18時~20時				
開催場所	中央公民館 第3集会室				
出席者 及び欠席者	●出席者： (委員) 芦沢・本保・縣・遠藤・滝川・永吉・倉田・村上・小松・辻 各委員 (市事務局) 森教育長・曾我教育長部・間野教育部次長・神山社会教育課長・内野公民館長・半井館長補佐・丸山事業係長・田中萩山公民館長・内藤秋津公民館長・川嶋富士見公民館長・時岡廻田公民館長・門脇主任				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由		傍聴者数	0名
会議次第	1. あいさつ 2. 委嘱状交付 3. 教育長あいさつ 4. 委員紹介 5. 職員紹介 6. 会長、副会長の選任 7. 会長、副会長あいさつ  8. 報告事項 (1) 第50回東京都公民館研究大会(12/9)について (2) 平成24年度公民館事業進捗状況について  9. 審議事項 (1) 東村山市生涯学習計画(案)について(前回継続②) (2) 第17期審議事項について (3) 平成25年度公民館市民講座テーマについて  10. 閉会				

## 会 議 経 過 (要約)

- 1 あいさつ  
内野公民館長より
- 2 委嘱状交付  
永吉さとみ氏、辻浩氏に委嘱状を交付。
- 3 教育長あいさつ  
森教育長より。
- 4 委員紹介  
芦沢、本保、縣、遠藤、滝川、永吉、倉田、村上、小松、辻、各委員よりあいさつ（資料1参照。）
- 5 職員紹介  
内野公民館長、半井公民館長補佐、丸山事業係長、田中萩山公民館長、内藤秋津公民館長、川嶋富士見公民館長、時岡廻田公民館長、門脇主任（事務局）よりあいさつ。
- 6 会長、副会長の選任  
全員一致で、会長に倉田委員が選任。倉田会長が辻委員を副会長として指名した。
- 7 会長、副会長あいさつ  
倉田会長：勉強不足な部分もあるので、皆様のご協力をいただくということを前提に、お引き受けさせていただきたい。  
辻副会長：幸い、倉田会長はキャリアの長い方なので、サポート役として徹していきたい。
- 8 報告事項  
(1) 第50回東京都公民館研究大会（12/9）について
  - ・参加者 254名
  - ・午前は中央公民館ホールにて、東北大学大学院教育学研究科准教授・石井山氏による基調講演
  - ・テーマは「公民館と地域の絆」。東日本大震災復興における公民館の役割につ

いて

- ・ 午後は課題別集会が行われ、西東京市（第1課題別集会）・福生市（第2課題別集会）・狛江市（第3課題別集会）の3市が担当し、パネルディスカッションや集団討論が行われた
- ・ 基調講演のみの参加者が14名、第一課題別集会参加者が125名、第2課題別集会参加者が76名、第3課題別集会参加者が39名だった

(2) 平成24年度公民館事業進捗状況について

資料2参照。

## 9 審議事項

(1) 東村山市生涯学習計画（案）（資料3）について（前回継続②）

- ・ 生涯学習計画の説明・解説について

神山社会教育課長が資料3（東村山市生涯学習計画（案））を説明・解説。修正すべき箇所を修正したものを次回の公民館運営審議会で配布する。

- ・ 小項目の表現について

【A委員】

24ページの内容と26ページの内容が酷似していると思うのだが。

【神山社会教育課長】

小項目は同様の表現だが、内容は全く違うものである。

【間野教育部次長】

紛らわしい小項目箇所については、番号を振るなりわかりやすくする。

- ・ 新たな体裁への変更について

【B委員】

参考資料1のように今後は修正していくということか。

【曾我教育部長】

非常に見にくいという意見をいただいているので、(参考資料1のように)体裁を全庁的に整えていくことになっている。

- ・ 生涯学習計画（案）の「公民館の変遷」項目について

【A委員】

12ページに「公民館の変遷」があるが、変遷のみで、公民館運営審議会や今後の計画・展開について述べられていない。文量的に考えても、そう

いった内容を盛り込む必要があるのではないか。

**【C委員】**

最近では青年教育の必要性が叫ばれており、ニートやひきこもりなど、見えないハンデを背負う青年が増えてきている。そういった意味では、(事業係主催の)かめのご学級(知的障害青年学級事業)を公民館の変遷に掲載し、今後(様々なハンデを抱える)青年学級の開催をもって青年支援という形で社会教育とする流れができれば良いと思う。

**【B委員】**

12ページの「公民館の変遷」に「(公民館10年のあゆみ)より」とある。開館から10年で終わらず、その後の20年についても触れるべきだ。

・生涯学習計画の反映について

**【D委員】**

この(東村山市生涯学習)計画は、どのように反映させていくのか。

**【神山社会教育課長】**

生涯学習の中で最も重要なのは、人・地域との繋がりや、知識・経験の活用である。現在、地域の繋がりに亀裂化していると言われているが、そういった中で、生涯学習を通して人との繋がり・街作りに、この計画が少しでも役に立てればと思っている。

**【E委員】**

社会教育という概念がどんどん広がっている。今、申し上げられた人・地域の繋がりということは、全て公民館の事業に関係している。今後、そういったニュアンスを公民館は意識していく必要がある。その実現には縦割りではなく、(他課との)横の連携が非常に必要である。他市の公民館を見る限り、そのようにして発展しているように見受けられる。当市も遅れている場合ではない。

(2) 第17期審議事項について

各委員には、前回に配布された「自主研修会提言」を一読し、今後の審議事項を提案する。また、その内容は比較的悪いイメージであるものが多いため、「公民館の良いところ」も提案してもらおう。提出先は事務局。

(3) 平成25年度公民館市民講座テーマについて

資料5参照。

10 閉会

次回開催日程：平成25年2月4日（月）18時から  
中央公民館 第3集会室にて

問 合 っ せ 先

教育部公民館庶務係

担当者名 半井・門脇

電 話 番 号 042-395-7511

ファクス番号 042-395-7515